

53  ひろば

OGAKI JUNIOR BOARD

第53年度第1号
一般社団法人大垣青年重役会
平成30年8月25日発行
<http://www.ojb1966.com>

52年度
スローガン

感謝の心をもって

楽しく経営にのぞもう

8月最終ゆかた例会



演題：○J Bをふりかえって

講師：平野 宏司 会員（第33年度入会）

平成30年8月9日 十八楼 参加者48名

○J Bでの様々な場面でのエピソードを、その時々で先輩からかけられた言葉で振り返り、その言葉に秘められた真意と、そこからの学ばれたことを話していただきました。

○J Bの流儀（すべてのことはメッセージ） 吉田 大助

講演が始まる瞬間、隣に座ってみえた長屋歴代からほとんどの会員が自然と姿勢を正されました。敬意を抱かせる“凄み”を改めて感じ、当然ながらその傾向は会歴の長い会員、要は、平野さんと親しみの深い会員の方が顕著だったように感じます。

平野さんの「墓場まで〜」につられて（あくまで私見ですが）ひとつエピソードを。私が会長させて頂いた49年度終盤、歴代会長会議にて、会を真剣に考える日比さんが身を賭して問題提起されました。それを受けて平野さんがプロセスを無視しているとして猛烈に批判。その後のお二人の仲が険悪になる位の真っ向勝負に「正しくある事」と「真の男気」を同時に学びました。そこで今回のご講演。心動かされた先輩の言葉として日比さんの情熱を取り上げられた平野さんに、自然と頭が下がり、胸が熱くなりました。

そしてまとめの「これでいいのだ」というメッセージは○J Bで脈々と受け継がれる“語らずして伝える”流儀のひとつの完成形だと感じています。本当にありがたいことです。

「かんじんなことは目には見えないんだよ」サン・テグジュペリ

平野さんが星の王子さまに重なったのはきっと私のセンチメンタルですね。



平野先輩 ありがとうございます 寸田 敬介

平野先輩とは、第45年度に広報委員長として、また創立45・50周年記念事業の役員会などいわゆる○J Bの節目となる年度で一緒させていただきました。時には眼光鋭く、時には生徒さん達を導くときのような温かい目で常に真摯にご指導いただきました。誰にでも分け隔てなく敬意をもって接せられ、常在戦場のごとく周囲に気を配り、後輩たちを陰からサポートされる立ち居振る舞いは、私自身の今後の大きな目標です。

都度○J Bでの重責を担うお立場でありながら、出来の悪い我々後輩の「悪ノリ」にもたびたびお付き合いいただきました。完成して間もないピッカピカの幼稚園に上り込み、ビールサーバーやフライヤーを持ち込んで宴会したり、屋外で大の大人が一糸まとわぬ姿でドラム缶風呂に入ったり、挙句の果てにはふっかふかの貸布団をわざわざ園まで取り寄せ雑魚寝をするという暴挙をも快くお引き受けいただいた旨、一生忘れられない素敵な思い出になりました。

平野先輩がご卒業されることは、ただただ“寂しい”の一言に尽きますが、今後ともこの出来の悪い後輩に公私ともにお付き合いいただけます様、この場をお借りして心よりお願い申し上げます。とりあえず来月あたりに一杯いかがですか！？





第52年度加納会長から第53年度川瀬会長へ会旗が引き継がれました。

加納会長から平野会員へ、特別会員認証状が渡されました。



恒例の胴上げが行われました



杉野親睦副委員長から第53年度川瀬会長へ、エールが送られました。



ゆかた例会二次会

場所：SEASON 参加人数：37名 卒業される平野会員を囲んで、夜遅くまで盛り上がりました。



第52年度役員を終えての感想文をいただきました

「一年を終えて」

会長 加納 浩二

今年度、会長という大役をさせて頂きました。始まる前は長い一年だと思いましたがあっという間の一年でした。

この一年間、会員の皆様のご協力により無事終えることができました。本当に感謝申し上げます。また、私とこの一年間を一緒に会の運営して頂いた役員、執事の皆さんありがとうございます。皆さんのおかげで楽しい会長としての一年を過ごすことが出来ました。

役員の方々には委員会の種別おいて個性を發揮して頂きました。この52年度色をつけて頂いたのはまさに役員の方々だと思います。

また、思っていた以上に色々な事が起きて、判断を迫られることもありましたが、この一年の経験をさせて頂いたことは何かOJBに入会したうえで一番の宝となると思います。一年間、とても楽しく過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

「第52年度の締め括りに」

副会長 川瀬 知哉

第52年度で福会長を務めさせて頂いたこと、また、加納会長のもとで自身の成長につながる勉強をさせて頂いたこと大変感謝しております。

副会長は全ての行事において御礼や閉会の挨拶であったり、中締めであったり会の締め括りをさせて頂いた役でしたが、様々な行事一つ一つで何か印象が残ったか、何を伝えたいかなど参加させて頂いた中で常に考え、それを言葉で発することは自身にとって大きな学びとなりましたし、成長につながる一年を過ごさせて頂いたのではないかと思います。今年度で学ばせて頂いたことを基に、次年度ではさらに自身が成長できるよう努めていきたいと考えています。52年度役員の皆様ならびに会員の皆様ありがとうございました。

「感謝の心と楽しむ経営者」年度を振り返って」

直前会長 大橋 誠治

まずもって、加納会長を筆頭で執事役員の皆様、1年間本当にありがとうございました。そして、本当にお疲れ様でした。また、会員の皆様におかれましても、年度の諸活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。今年度は、会の先頭を意識していた前年度と比べて、中に居ながらも加納会長のバックアップを最優先で意識し、一歩引くつも全体をみているというような立場でした。立場が変われば、見え方感じ方も違ってきます。多くの学びや気づき、ヒントや教訓のこと、その場面やその関係者間での取り巻き背景などもよく感じることが出来ました。そして何よりも「感謝の心」を最大限意識して物事に当たる大切さを改めて感じさせて頂いた年度であったと思います。そしてそれに「楽しむ」というスパイスで味付けして経営における重要性を学びました。

また、「変えることあるは変えてみることに」にもスポットが当たった年度でした。今後求められるOJBスタンスも含め、来年度も出来る限り参加して皆さんと共に更なる研修、自己研鑽させて頂き自分自身も展開していければと思っております。この3年間、副会長・会長・直前会長と努めさせて頂き、会員の皆様のお力添えやご理解やご協力を沢山頂き誠にありがとうございました。今後もOJBの皆様と一緒にさせて頂きます。宜しくお願いします。

「刺激たっぷりの1年間」

監査役 岸上 奨

昨年度、卒業まであと2年と意識始めた矢先に、52年度の監査役のお話を頂き、最後のご奉公というつもりで引き受けさせて頂きました。役員をさせて頂いて、最近希薄となつてきた若い会員の方たちと接するよい機会となり、非常に刺激を受けた時間となりました。OJBへの恩返し気持ち、そして、客観的にOJBを見る貴重な機会を与えて頂いた事に感謝しながら、この1年間過ごしてまいりました。未熟である私に監査役として、皆さんにご迷惑やお叱りを受け大変申し訳なく思っております。1年を振り返ってみると自分にとっていい節目の年で自己研鑽という場を提供して下さった、会長をはじめ会員の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。

「楽しく感謝にあふれた一年でした。」

相談役 松本 正平

第47年度の直前会長以来、5年ぶりの役員でした。相談役という役割は、自社で仕事を継続することがない役割だと思います。久々の役員ができるという喜びも多々ありましたが、加納会長をどのように支えようかと思案しからのスタートでした。自分が会長の時頼りにしたの、理事長をしたときの会長、つまり藤井副会長でした。加納会長理事長を経験してないので、まずは藤井副会長のような役割を求められたようでした。ですので、年度の最初まよつとおせつかいなくらい発言していたように思います。また加納会長、足立理事長も素直に僕の指図を聞いてくれたように思います。

年度の後半は、落ち着いた会長に自信をついた理事長の下、役員が和気あいあいとスローガン通り楽しく会を運営する姿を見て、特に発言することはありませんでした。楽しく充実した一年を過ごさせて頂いたこと、加納会長、足立理事長へ感謝いたします。ありがとうございました。

第52年度役員を終えての感想文をいただきました

「役員を終えて」

幹事長 足立 貴保

一年前、加納会長より幹事長に指名された際は、大変な重責を負ったことに緊張していたことを思い出します。

この一年間、加納会長の下、役員の皆様にご協力いただきながら、無我夢中で幹事長の職務を勤めて参りました。自分に足りない部分を痛感して落ち込んだり、ご迷惑をかけてお詫きを頂いたり、初めての経験もたくさんさせて頂き、そのすべてがかけがえのない経験となりました。

役員の皆様はじめ、会員の皆様方からは、拙い幹事長でご心配やご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、なんとか勤め上げられたことを改めて感謝申し上げます。終わってみれば、充実した楽しい一年間を過ごさせて頂きました。この経験は、必ず今後の自分にとって生きてくと確言しております。本当にありがとうございました。

「感謝しながら研修しよう」

例会幹事 川瀬 竜也

初めての研修部、また例会幹事という大役に加え、研修委員会・会員委員会の二つの委員会の担当幹事を仰せつかり、当初お逃がしたいと思っておりました。しかし、加納会長をはじめ、52年度の役員の人たちが皆、私の仲間になってくれることを知り、前を向いていけるようになりました。刺激されて知り、共に歩んで経験する。語り合って反省し、また刺激されて知る・・・一年間には想像すらできなかったようなことが、今では少しでもできるようになっていることに自分自身、たいへん驚いています。この一年間での活動は、全て私の宝です。二度と手に入れられない貴重な研修の機会を与えて下さった加納会長、そして52年度全ての役員の人たちに感謝しております。ありがとうございました。

「1年間ありがとうございました！」

広報幹事 野原 実

加納会長から「幹事をやってほしい」と電話を頂き、「せっかく声をかけてくださったのだから、期待こたえねえ」この一心で受けさせて頂いて私の52年度はスタートしました。しかしながら1年を終え、自己評価としては合格点に達しない内容の1年だったように思います。それでも、研修部のみならず支えられながら、なんとかやり切った1年でもあります。まずは1年、この立場をさせて頂いた事に感謝し、この貴重な経験を今後のOJB活動はもちろん、仕事にもしっかりと生かしていきたいと思います。加納会長、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

「52年度を終えて」

会計 上野 和幸

52年度の会計を加納会長に引継ぎの時、選定して頂く嬉しさと同時に、自分で務まるかという大きな不安も襲われた。年度の終わりとなった今でも務まったのが嬉しいけど、そんな僕を温かくフォローしてくれたい会長、幹事長を始めとした役員の方々に感謝しかない。僕が誰かの話を聞かせてもらった時に、一番重要視するのは、その人が覚悟あるかどうか、である。例えもし正しい事を言っていたとしても、覚悟のない人の言葉は胸を打たない。だからこそ、役割を引き受けるという覚悟を持って、一年活動された会長や幹事長の言葉に胸を打つし、自分の心の中に残っていく。いつか僕も、誰かの胸を打つ覚悟を身につけたいと思っているが、やっぱり無理そうなので、来世への自分の課題としたい。最後に、苦手を役立てて与えてくれて僕を成長させてくれた会長に最大限の感謝の意を表するとともに、二度と他人のお金掛からないぞと心に誓う8月の、カムパネルラと旅に出かけるぐらい星空が綺麗な夜である。

「役員を終えて」

研修委員長 堀 隆男

第52年度で研修委員会委員長を仰せつかりました。OJBに入会して2年目と言うことで、組織的なところはまだまだわからない状態でしたが、研修委員会で何を自分がやりたいのか、どうすればみんなが喜んでくれるのか、ということをはたすら考えてきました。

私の思いがけず作り上げた事業の提案を、副委員長の日井さんと幹事の川瀬さんから、客観的な視点の適切なアドバイスを頂いた事は、大変勉強となり、本当に嬉しくありました。おかげさまで会員の皆様へ私の出来る限りの最高の形での研修を、おこなうことができました。研修の中身が毎々考えていたことやOJBを1年間継続してその中で思ったこと、OJBの中での人々との出会いから感じたことなどを元々提案させて頂きました。当日にお先輩方にも御協力いただき、会員の皆様への温かいアドバイスを頂いた事は私にとって大きな喜びであります。

日々の打ち合わせ等、研修委員会を中心とした1年間となりましたが、会員の皆様のご協力があった初めて成り立つ、交流の中で互いに支え合っている会なのだということを実感できました。53年度以降もこの思いを大切にしながらOJB生活を送りたいと思います。1年間どうもありがとうございました。

第52年度役員を終えての感想文をいただきました

「52年度を振り返って」

研修副委員長 白井 俊治

52年度は、私としては入会3年目の年でした。研修という会の存在意識がかわる委員会の役員となり、不安でしたが、何とかやり遂げられたという印象です。OBの方を交えた座談会・研修は、大変不安でしたが無事やり遂げることができてよかったです。今年のテーマ「経営理念」という形のものでしたが、それぞれ一人一人の考え方の違いなどに触れることができ大変興味深い一年だったと思います。おめでたもいっぱいありましたね!

「新時代到来」

会員委員長 小林 諒士

まず初めに幹事長自分を会員委員長に選んでいただきありがとうございました。今年度自分が○J B52年の歴史で一番多く新入会員に会してもらえらる事になりました。委員長になり会員の皆様と今年度の目標は10人入会してもらおうと言って、目標を達成できました。1年間とにかく時間を作っては、入会申し込みと言われた方にも足を構えてでも会いに行ったりしました。10人入会してもらえば、100人の方と会えればダメだと思いましたが、皆様自分と協力してくれのおかげで達成できたと本当に思っています。10人集める口では簡単言えますが、あえてそれを会員の前に言い自分を責め、仕事で成長できたと思います。

「コミュニケーションの取り方について悩み続けた一年間」

会員副委員長 西川 可一

重役会の一員としての立ち位置、役員としての立ち位置、その他組織での立ち位置、それぞれ時と場合に応じたコミュニケーションを通して大きく3つのことを学びました。

- ① 鶏口牛後とはいうが、どちらがよいのかは各個人のライフスタイル、考え方によって大きく異なるということ
- ② 自分中に見ているときと相手が見ているときが異なること
- ③ 蛸の経営哲学

そもそも、独立した経営者と事業継承した経営者ではライフスタイル、考え方が違うことを理解し、相手を支配してコントロールする自己中心的な関係から、自分に素直に生きる相手を認めることができれば、会も変えられるかもしれません。

最後に、必要とされない個人、企業、団体になることが一番の不幸です。リスク管理と活躍できる場をテーマにますます研修に参加したいと思います。

「役員を終えて」

広報委員長 清水 裕雅

第52年度で広報委員長をさせて頂きました。第49年度の会員副委員長と続き、2回目の役員でしたが、今回は、2人の副委員長をまとめる委員長という立場であることと広報委員会という新しい役割で、1年間の研修をさせて頂きました。

委員長として、2人の副委員長に指示をする立場ではありませんでしたが、過度な負担にならないよう配慮をしまい、指示のタイミングが遅かったり、言葉不足だったり「○J Bひろば」の編集作業が軌道に乗るまでは大変苦労しました。しかしながら、広報陣を含めた4人で、より効率的な役割分担を模索しながら、毎月、少しずつですが、レベルアップができたのではないかと思います。今は1年間一緒にやってきた広報チームに感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、1年間の役員という研修が終えられたのも、会長、幹事長をはじめ役員の方のおかげです。本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

「第52年度の感楽（かんらく）を振り返って」

広報副委員長 堀 佳一

加納会長をはじめ役員の皆様、1年間の御礼です。そしてありがとうございました。入会2年目で副委員長という機会を与えて頂き、私自身とても学びの多い1年でした。第52年度が始まったときはひろばの作成・HPの管理等手探りで動いていましたが、先輩方からご指導をいただき、委員会で役割分担をしながら無事1年を終えることができました。1人では困難なことも皆が話し合い協力すれば困難も解決できる、そう言っ気づきを得ることができ、今後の○J Bや仕事にも生かせたらと感ずることができました。

この1年間皆様のおかげで頂いたご恩を返せる様、第53年度以降も感謝の気持ちをもって楽しく○J Bにのぞきたいと思います。素直に感謝をさせて頂き、ありがとうございました。

第52年度役員を終えての感想文をいただきました

「役員を通して学んだこと」

広報副委員長 西松 恭伸

1年間あっという間でした。役員を通して、自分自身の足りないところを担当幹事、委員長から様々なアドバイスをいただきました。アドバイスで言われたことをまだ出来てないことも多くあります。しかし一年間通して、人として大切なことを教えられて、今ではそれが自分自身の課題となりました。そして、広報委員会副委員長として、広場を通して情報の発信ということについて学ばせて頂き、会員の方から様々な声を聞かせていただき改善点などを見つけることができました。また副委員長として、幹事、委員長と委員会外で交流させていただき、色々なことを学習させていただきました。一年間本当にありがとうございました。

「感謝！」

親睦委員長 高木 一也

加納会長を始め、役員の皆様、会員の皆様には1年間大変お世話になり、また、ご協力を頂き感謝を申し上げます。
段取りや準備をするのが苦手な私に、親睦委員長が務まるのかとても不安の中で始まった52年度でしたが、とても勉強になった1年間だと思っております。一つ一つの行事を成功させるためには、とてつもなく細かいことを準備していき、その積み重ねが、行事に参加していただいた方の笑顔や楽しさにつながり、結果、行事の成功へとになっていくことの大切さと難しさを学ぶことができました。また、52年度の親睦委員会の活動は、台風との戦いでしたが、無事に委員活動が行えたのは、会員皆様のご協力があったからこそだと思っています、ありがとうございました。
最後に、加納会長、私を52年度の親睦委員長に抜擢していただき、誠にありがとうございました。

「第52年度を振り返って」

親睦副委員長 杉野 辰彦

第52年度、初めての役員にお声を掛けて頂いた加納会長はじめ、執行部、役員の皆様、そして会員の皆様、一年間ご指導ご協力頂き本当にありがとうございました。親睦副委員長のお役を頂き、まだまだ○J Bの活動内容が分からないままでのスタートで不安ばかりの1年でしたが、高木委員長のもとで本当に色々な経験、研修をさせて頂き、職場では体験出来ない、資料の作成、行事の段取り、二次会進行などこの一年で沢山の事を研修させて頂きました。不安定過ぎる行動ばかりの私自身ですが、高木委員長と一緒に活動させて頂き、すごく学びの多い一年でした。この貴重な学びを来期も継続できたらと思っております。ありがとうございました。そして役員を通じて、加納会長、役員の皆様、会員の皆様とお話する機会が増えた事は、とても感謝しております。この一年間皆様、本当にありがとうございました。

「役員を終えて」

長期計画委員長 近沢 正

加納会長よりお声かけいただき、長期計画委員会委員長を務めさせていただきました。計3回の委員会開催では自分に足りない所を認識できとても良い研修となりました。まずはこの役目を与えてくださいました加納会長、ありがとうございました。そして52年度役員の皆様、それぞれの役目に真剣に取り組む姿からは大いに刺激を受けてとても良い研修ができました。色々な事があった52年度でしたが、なんだかんだで楽しく研修にのぞめた1年間でした。役員の皆様、会員の皆様、本当にありがとうございました。

「役員を終えて」

長期計画副委員長 大橋 博己

加納会長から長期計画副委員長として、声をかけて頂きました。同期の仲間として快く引き受けて早一年、もう役員も終わったのか、と言うのが今の気持ちです。役員をするたびに思う事が、仲間の大切さ 助け合い 絆を実感します。こうして学べるのも役員をするから体験できる大切な時間だと思います。

今年度の反省点として、第二回長計では、準備不足があり、参加された会員の皆様には時間を無駄にさせてしまった部分があったのかなと思います。逆に第三回では、色々な活発な意見が出され、52年度長計カラーが出て良かったです。こうして、無事に役員を終えることが出来たのも、加納会長はじめ役員の皆様、会員の皆様のおかげだと思っております。一年前本当にありがとうございました。

感謝 感謝 感謝です。

第53年度川瀬知哉新会長インタビュー

第53年度スローガン 夢をカタチにしよう

Q1. いよいよ第53年度がはじまります。今の心境をお聞かせ下さい。

第53年度を任せていただける喜びと、皆様にとってよりよい運営をしていきたい緊張感とが混ざり合って複雑な心境です。しかし、自分自身がどこまでできるか、役員含めて皆様と一緒にどこまでできるのか大変楽しみであり、ワクワクしています。

Q2. 第53年度のスローガン「夢をカタチにしよう」に込められた想いをお聞かせください。

自分自身に言い聞かせたスローガンとも言えます。会社経営にあたり、真剣に夢を描き、そこに向かって何が足りないかを知り、今何をしていかなければならないか。羅針盤のようなものが必要ではないかと考え、そのような研修をしていきたいと思い第53年度のスローガンにさせていただきました。

Q3. 今年度、もしくはこれから、会長自身がどのような夢をカタチにしたいとお考えでしょうか。お聞かせください。(OJB以外の事でも結構です)

OJBの会員皆様が研修を積んでいく中で、OJBに入っているからこそ全ての会員企業が発展・成長し続けられると仰っていただける会にしたいです。その為の研修をしていくきっかけとなる年度にしたいです。

Q4. 今年度の例会や委員会活動で注目して欲しいところはどこでしょうか。

会員皆様にとって良い研修ができる企画を役員全員で必死になって考えています。例年やっているからではなく、何故やっているか、何のためにこの研修をするのか、を心がけて企画・運営して参りますので全ての活動を楽しみにしていただければと思います。

Q5. 最後に会員の皆様に向けて、メッセージをお願いします。

皆様にとって良かったと言っていただけ一年にしたいと考えておりますが、皆様のお力が必要です。様々な活動毎に貴重なご意見を多数いただけますと助かります。役員一同、精一杯やりぬく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



第52年度四季の会

所：駅前にしき 参加人数：12名（OB会員）



第17回全国高校生ポスターコンクール表彰式

第52年度加納会長が、来賓としてテープカットに参加しました。



第52年度家族親睦会

日付：平成30年7月28日

場所：大垣フォーラムホテル

参加人数：会員27名、

配偶者15名

お子様 28名



お知らせ

9月記念講演及び総会

日時：平成30年9月10日（月）

18：15～21：30

場所：大垣フォーラムホテル

※総会終了後に名刺交換会を行います。

名刺を10枚以上お持ちください。

第1回飲んで語る会

日時：平成30年9月10日（月）

22：00～23：30

場所：和菜台所 がぶや

大垣市栞森町5-75

会費：4,000円

合同委員会

日時：平成30年9月18日（火）

19：00～21：00

場所：丈山の里いずみ庵 大垣店

岐阜県大垣市築捨町4-78

会費：5,000円

合同委員会二次会

日時：平成30年9月18日（火）

21：30～23：30

場所：SEASON

大垣市高砂町1-27毛利ビル4F

会費：4,000円

8月ドネーション

- ・ 平野宏司 会員 本日はありがとうございます
- ・ 大橋誠治 会員 今年から娘が読め受験した世界遺産検定、4級、3級ご続き2級も合格しました。因みに娘も残念でした。
- ・ 長屋是通 会員 5kg減量しました。
- ・ 執行部一同 第52年度の行事ご多くの方ご参加いただきありがとうございました。1年間ありがとうございました。
- ・ 長期計画委員会 1年間ありがとうございました。
- ・ 親睦委員会 家族親睦会、多くの方ご参加いただき誠にありがとうございました。また、1年間親睦委員会の活動ご協力いただきありがとうございました。
- ・ 広報委員会 1年間ありがとうございました。
- ・ 会員委員会 前人未だの誰も成し得なかった金字塔新入会員10名を成した52年度会員委員会は、感謝の心を持って、楽しく研修させていただきました、最高の至高の結果として残すことができました。ありがとうございました。
- ・ 研修委員会 1年間ありがとうございました。
- ・ 加納浩二 会長 長男 隆一郎が1才半ひまりました。昨日8月8日で3回目の結核記念日を迎えました。1年間本当にありがとうございました。